

開館時間延長試行の経過報告

吉岡 義信

本学図書館では、従来平日は9時（実際は8時30分）から18時まで、土曜日は9時から13時まで開館してきました。17時から18時までは5人の職員が1人ずつ交替で勤務（実際は1人では無理なので他の職員も残業）しているのが現状です。

しかし、昨今の社会事情により開館時間の延長を望む声が高まり、図書館員で検討した結果、今年度の後期末試験期間中に19時まで延長を試行してみることにしました。そのためには、まず最低2人の人員確保が必要であるため、アルバイト1名の要請をしましたが認められず、結局職員で出来る範囲でやることにしました。

期間は試験1週間前の1月26日（月）から試験最終日の前日2月12日（木）までとし、18時以降は貸出・返却業務は行わず、また3階閲覧室も閉め1・2階閲覧室のみの利用としました。職員の勤務は交替で10時から19時（実際は19時30分）までの時差出勤とし、18時から19時までは全くの奉仕で行ないました。

この間の利用状況（入館者数）を表にしてみると以下ようになります。ちなみに該当学生数（含別科・看護専門学校、除大分校）は、2,197名となります。また、月全体では1月が15,819名、2月が8,800名と昨年の14,734名、6,881名を上回っています。

日	人数(延)	日	人数(延)	日	人数(延)
26	2,299	2	721	9	1,443
27	1,068	3	1,163	10	618
28	1,252	4	1,140	12	638
29	1,344	5	1,191		
30	1,425	6	1,087		

約3週間の間予想外に利用者は多く5時以降毎日100名前後（多い時は200名近く）の利用者があり、好評であったことが窺えます。閉館近くには20名から30名近くの利用者がいました。この現象が試験期間中だけの特別なことなのか判断がむずかしいところですが、昨年の同時期と比較しても利用者の数が増加していることは間違いありません。最後に、今回試行した上で以下のような問題点があげられました。

- 1、職員の勤務態勢としては、やはり1人では無理があり管理上最低2人の人員が必要であること。
- 2、18時に3階閲覧室を閉めた場合、1・2階に移動するのではなく帰る学生が多いこと。
- 3、18時以降も貸出の希望が多いこと。

以上のようなことを考えた場合、2、3の問題については解決できないことはありませんが、1の問題については、今回のように短い期間であれば職員の好意（かなりの負担ではあるが）に甘んじら

れますが、今後長期にわたって開館を延長した場合、やはり増員を考えなければならないと思われ
ます。

最後に、開館時間の延長は土曜日も含めて考えていかなければならない問題であり、乗り越えな
ければならない課題もありますが、時代の趨勢として当然のこととなりつつあり、前向きに検討してい
かねばならないと思います。

(よしおか・よしのぶ 別府大学図書館事務参事、非常勤講師)